

在来生物の保全と外来生物の有効活用



Action

秋田市大森山動物園塩曳瀉や本校付近のため池において、在来種調査と外来種駆除を行っています。今後も継続的なモニタリング調査を行い、絶滅危惧種であるゼニタナゴやシナイモツゴ、キタノカヒレタビラなどの在来種の保全に努めていきたいと思えます。

また、外来種の駆除活動と平行して、アメリカザリガニの肥料化に向けた研究にも取り組み始めました。肥料価格の高騰が深刻な問題となっているので、その解決の一助となるよう、良い成果を導きたいと思えます。

他にも、海浜植物で絶滅危惧種に指定されているハマボウフウを、地域の花として栽培したり、その効能についても研究予定です！

